



平安

あったかハートで Hey!安心!!

1月号

気持ちの良いあいさつを続けて

学校長 中村 浩子

あけましておめでとうございます。今年のお正月はどのように迎えられましたでしょうか。穏やかなお天気の中で、子どもたちはご家族と充実した冬休みを過ごした様子でした。

毎朝、校門にいと、大きな声であいさつする子、ちょっと恥ずかしそうにあいさつする子、会釈であいさつする子、中にはこちらから催促するようなあいさつにやっと反応する子もいます。

しかし、校舎から聞こえてくるのは、大きな声で「おはようございます!」とあいさつし合っている子どもたちの声です。運営委員会が主催した「あいさつ運動」を実施していた12月は、昇降口で担当学年の子どもたちが登校してくる子どもたちにあいさつをしていました。校舎内では、校門とは全く違う子どもの姿が見られます。きっと、仲良しの友達と一緒にだから安心してあいさつできる場所、自分が知っている相手だから恥ずかしがらなくても大丈夫な場所なのかもしれません。

では、帰り道の子どもたちはあいさつできているのでしょうか。

先日、「見守り隊への感謝の会」を行いました。これは、毎日子どもたちの下校に合わせて、地域に立ってくださっている「見守り隊」の皆様を招待して、体育館で子どもたちから感謝の手紙を渡したり、お名前を紹介したりするものでした。門でのあいさつの様子から、「見守り隊」の皆さんへのあいさつがきちんとできているか心配していましたが、「見守り隊」の方からいただいた第一声は「みんな、ちゃんとあいさつしてくれるよ。」でした。また、「1年生は入学した頃、はにかんで会釈していったのが、今では『ただいま』と元気にあいさつしてくれます。」ともお話いただき、とてもうれしかったです。

地域住民が笑顔であいさつを交わす町は犯罪が少ないと言われています。同じ町に住む人たちがお互いに関心をもって生活をしているということは、悪いことをする人には住みにくい町ということでしょう。まずは、大人から気持ちの良いあいさつをして、子どもたちと気持ちの良いひとときをしたいものです。